

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	心身障害児総合医療療育センター 児童発達支援事業		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 3月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケアのあるお子さんを積極的に受け入れている	当センター外来（診療）と連携を行い、医療的ケアのあるお子さんを紹介していただくようにしている。	地域の医療的ケア児コーディネーターや保健センター等の機関と連携をはかれるとよいと考えている。
2	親子通園を行い子どもと保護者の支援を行っている	お子さんの変化や成長を伝えて共有すること。 お子さんの課題について一緒に考えるようにしている。	参加している全てのスタッフがタイムリに声掛けや質問に答えることができるように、日々の振り返りや検討会などを通じてお子さんの理解を深めていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子通園希望者の利用低下傾向	これは当事業所だけの課題ではなく、多くの事業所が直面している問題です。 共働き家庭が増え、子どもの育ちに対して思いはあるものの子どもを預けて働かなくてはならない状況があると思われます。一方で、親子活動を通じて、この時期に共有できること、この時期にしかできないこともあると思われます。	当事業所だけの課題ではなく、子どもの育ちや支援を考えると、働き方を考えることは社会全体で考えなくてはならない課題だと思われます。 サービス提供者としては、親子活動の意義を感じていますので、通いやすい頻度や時間帯、企画などを柔軟に設定していく必要があると考えています。
2			
3			